

# 1 インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ) グローバル・メディア・スタディーズガクブ	フリガナ) カガミヨウコゼミナール
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	各務洋子ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ノジキョウチーム	フリガナ) イノウエユキ	7人	無	
農事業チーム	井上雄貴			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 研究テーマ (発表タイトル)

野菜革命で医療費の未来を変える

※必ずく企画シート作成上の注意を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

#### 「野菜革命で医療費削減」

本研究は、生活習慣病のリスクを下げ、国民医療費の削減を目的とする。

近年、高齢者の医療費の増加が問題視されている。原因は、若いうちから野菜を食べる習慣が身についておらず、生活習慣病にかかるリスクが高まっているからだ。食生活を見直し、大学生が定期的に十分な野菜を摂取できる方法を提案する。そこで、当事者である私たちが学生生活で使用する学食と共同プロジェクトを行い、生活習慣病にかかるリスクを削減したいと考えた。

### 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

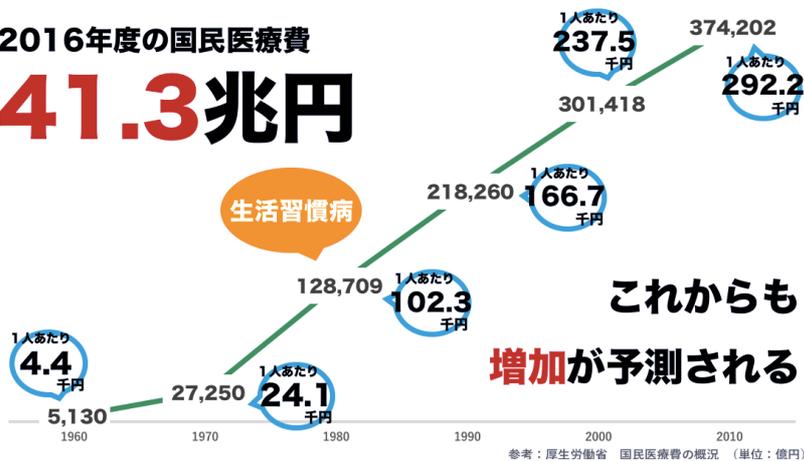
#### 1, 「外食産業の発展」

戦後、1971 年から海外発祥のハンバーガー店をはじめ、多くのファストフード店が台頭し始めた。気軽においしく高カロリーなものが食べられる時代の幕開けだ。

外食元年と呼ばれる 1970 年から一人当たりの医療費は年々増加してきた。そして、今後も増加することが予想される。さらに、外食元年からの野菜消費量のデータを見ると減少傾向にあることが分かった。外食産業の発展と共に野菜の摂取量が減少し、生活習慣病患者が増え国民医療費の増大につながっていると私たちは仮説を立てた。

2016年度の国民医療費

41.3兆円



## 2、「高カロリーで野菜不足な食事」

まずは、身近な環境である駒澤大学の学生食堂の現状を調査した。学生食堂で人気があるメニューは、ボリューム満点のカツカレーや、ビーフステーキ定食である。これらのメニューには野菜が一切使われておらず、カツカレーに関しては 1000kcal を超えている。日替わりサラダはすでにメニューとして存在するが、使われている野菜の種類が少なく、栄養価は低い。農林水産省によると、1日に摂取しなければならない野菜の量は、350gだ。しかし、多くの学生がこの数値を達成できていないと考えられる。

## 3. 研究テーマの課題

### 「駒澤大学生の実態」

駒澤大学生の野菜に対する意識と、現状を確認するため駒澤大学生約 300 名を対象にアンケート調査を行った。

【期間】：6/22(金)～6/28(木)

【時間】9:00～16:00

【人数】：駒澤大学生 322 名

図1：あなたは野菜不足だと思いますか？

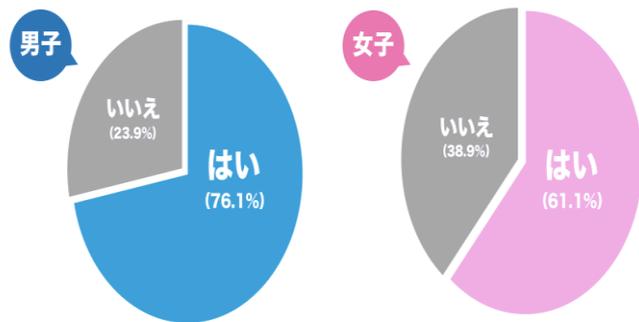


図2：野菜の効果や栄養について知りたいと思いますか？

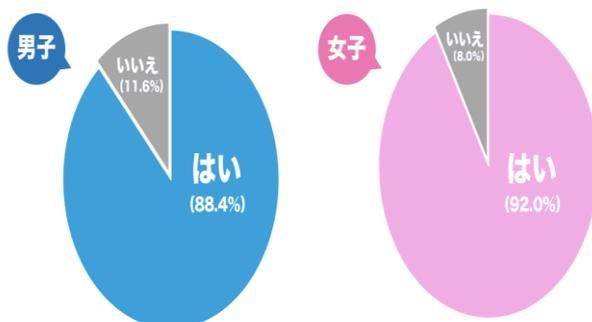
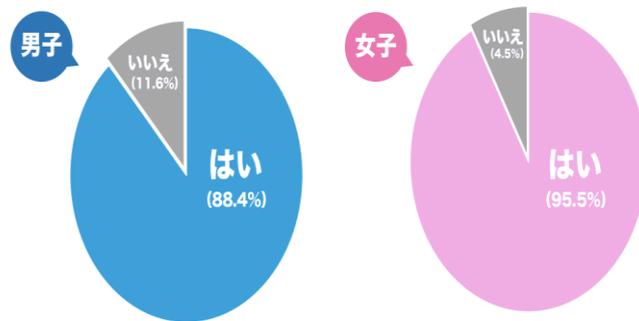


図3：野菜で悩みを解決できるなら野菜を食べたいですか？



アンケート調査によると、学生たちの6割以上は野菜不足を認識していたが、野菜に対する意識はポジティブであることが分かった。(図2参照)さらに、学内で野菜を食べる機会が十分ではないことも調査の結果からわかる。

学生の野菜不足を解消するために、学生が手軽に定期的に野菜を摂取できるメニューを考案したい。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

##### 「学食の野菜革命」

課題解決のため、私たちは大学生が野菜を摂取する習慣や知識を身につけることができる方法を提案する。

駒澤大学では在学学生を対象に、学生食堂で朝食を 100 円で提供する取り組みが、平成 26 年度からスタートした。そこで私たちは、2018 年 7/9(月)～7/13(金)の一週間限定で学生食堂において提供している 100 円朝食のメニューを発案したプロジェクト「学食の野菜革命」を実施した。具体的な活動内容を以下に挙げる。

##### ① 葉物野菜を使った栄養豊富な曜日別メニュー考案・提供

→卒業生の中で協力して頂ける方を探したところ、手を挙げてくださったのがオリックス株式会社でした。銀座スエヒロ協力の元、オリックス株式会社の農事業部が提供する葉物野菜を使用した 100 円朝食のメニューを考案した。曜日ごとにメインとする野菜を変え、学生自身が体の悩みに合わせて野菜を選ぶことができるようにした。

##### ② 野菜の知識カード作成

→メニューに使われた葉物野菜の効能・知識を記載したカードを食後に配布。摂取した野菜について詳しく知り、食育に繋げることを目的とする。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

##### 「100 円朝食の実施結果」

駒澤大学生に対して野菜に関する意識調査とメニューに対する満足度、普段の「100 円朝食」メニューとの比較、今後も野菜中心のメニューを食べたいか等のアンケートを実施した。

期間：7/9(月)～7/13(金)（プロジェクト実施中）

時間：8:00～9:30

図4：普段の百円朝食と比べていかがでしたか？

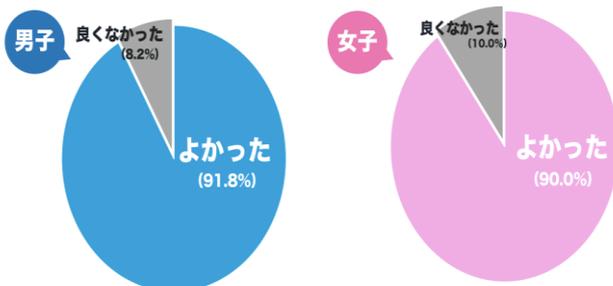
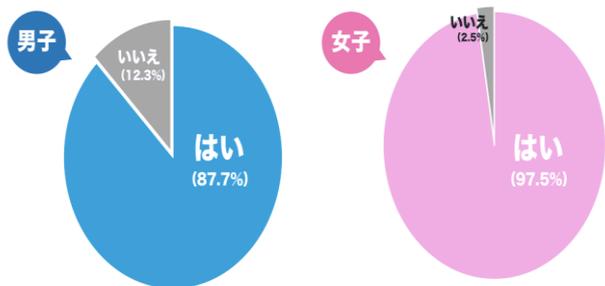


図5：今後も野菜を多く使用したメニューを食べたいですか？



野菜中心のメニューは学生から好評で、90%ほどの学生が「よかった」「また食べたい」と回答した。以上のことから、学生は野菜嫌いなのではなく、野菜を食べる機会がなかっただけということが明確になった。

#### 6. 結果や今後の取り組み

##### 1. 「実証実験のまとめ」

実施した私たちの学食プロジェクトの結果は以下の通りである。

① 駒澤大学の学生を対象とした 100 円朝食のオリジナルメニューは5日間で合計1000食完売した。

② 朝食を食べた学生に行ったアンケートは次の3つの質問で計測した。

「今日のメニューはいかがでしたか？」

「普段の 100 円朝食と比べていかがでしたか？」

「今後も野菜を使用したメニューを食べたいですか？」

全ての質問に対して 90%以上の学生が満足し、高い評価をした。

##### 2. 「野菜革命を全国へ」

このプロジェクトは7月26日付けで大学のホームページにも掲載された。大学の後援会で実施報告をしたとこ

ろ、継続希望の声も多く上がった。

本研究は、医療費増加を根本とする若者の野菜不足問題を解決するためのプロジェクトである。今後は学生が野菜を習慣的に摂取できるように、LINE@を含めたサービスを展開する。具体的な内容は以下2点だ。

- ① 全国の学生食堂で悩み別サラダ（提案する新メニュー）を提供
- ② LINE@を使用したサービスの展開(野菜の情報、スムージの提供)

その結果を踏まえ、他大学へも提案し、日本全国の学生の野菜不足を解消していきたいと考えている。若者たちに野菜を食べる習慣が身につけば、20年後の生活習慣病のリスクを低減できる。食生活の改善は、医療費問題解決への糸口となる。私たちの取り組みで日本の国家問題を解決し、医療費が削減出来るよう、さらなる活動の展開を目指す。

## 7. 参考文献

厚生労働省 白書,年次報告書 平成 29 年度～平成 13 年度

[https://www.mhlw.go.jp/toukei\\_hakusho/hakusho/](https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/)

農林水産省 野菜の消費をめぐる状況について [http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai\\_zyukyu/y\\_h29\\_mitosi/pdf/yasai\\_shohi\\_jyokyo.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/y_h29_mitosi/pdf/yasai_shohi_jyokyo.pdf)

農林水産省 食料需給表 昭和 46 年度 農林水産省

[http://www.library.maff.go.jp/archive/Index/400295911\\_0001?p=1&m=0&fop=0&top=0&aop=0&lop=0&s=0&lpp=1&cid=86&st=0&ist=False](http://www.library.maff.go.jp/archive/Index/400295911_0001?p=1&m=0&fop=0&top=0&aop=0&lop=0&s=0&lpp=1&cid=86&st=0&ist=False)

糖尿病ネットワーク 糖尿病の患者数 <http://www.dm-net.co.jp/calendar/chousa/population.php>

OECD 「[Fruit and vegetable consumption among adults](https://www.oecd-ilibrary.org/search?value1=vegetable&option1=quicksearch&facetOptions=51&facetNames=pub_igold_facet&operator51=AND&option51=pub_igold_facet&value51=%27igo%2Foecd%27)」 [https://www.oecd-](https://www.oecd-ilibrary.org/search?value1=vegetable&option1=quicksearch&facetOptions=51&facetNames=pub_igold_facet&operator51=AND&option51=pub_igold_facet&value51=%27igo%2Foecd%27)

[ilibrary.org/search?value1=vegetable&option1=quicksearch&facetOptions=51&facetNames=pub\\_igold\\_facet&operator51=AND&option51=pub\\_igold\\_facet&value51=%27igo%2Foecd%27](https://www.oecd-ilibrary.org/search?value1=vegetable&option1=quicksearch&facetOptions=51&facetNames=pub_igold_facet&operator51=AND&option51=pub_igold_facet&value51=%27igo%2Foecd%27)

厚生労働省 厚生労働省における生活習慣病対策について <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/iryoujyuhou/dai11/siryou8.pdf>

日本経済新聞「国民医療費-1人あたり年間33万3300円」2018年9月17日付朝刊, 3A(2).

日経プレスリリース 「日本フードサービス協会、7月の外食産業市場動向調査結果を発表」 2018年8月27日付

「医療制度改革の誤算」、『日経ビジネス』2018年4月30日号 日経BP社

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**